



邑智小だより

3月24日
水曜日
発行所
美郷町立
邑智小学校

○令和2年度が終了します。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながら、新しい教育の在り方を考え続けた令和2年度が終わります。邑智小学校では、「笑顔あふれる邑智小学校」を学校づくりのスローガンに掲げ、子ども達が「今日学校に来てよかった。明日も学校に来たいな。」と思えるよう、日々の教育活動に取り組んできました。コロナ禍での教育活動は手探りの連続でしたが、できる範囲でよりよいと判断したことを実践してきました。この一年間の活動の評価は、もう少し時間が経った後にしか分からないのかもしれませんが、子ども達が大人になった時、「いろいろな工夫してやってきたから今がある。」と思える一年であったことを信じていきます。

本日、修了式を終え、通知票を持ち帰ります。ご家族一緒にご覧になり、子どもたちの伸びを認め、ほめていただけると嬉しく思います。

この一年、保護者のみな様、地域のみな様には、たくさんのお力添えをいただき、本当にありがとうございました。おかげさまで、充実した教育活動を行うことができました。

明日から春休みです。体調管理や事故に十分気をつけ、有意義な時間を過ごし、進級の準備をして欲しいと思います。新年度の始業式（四月八日）には、全員が元気よく登校してほしいと思っています。



令和2年度卒業証書授与式を行いました

27名が邑智小学校を巣立ちました

校庭の枝垂れ桜が咲き、春のさざしが感じられる3月19日（金）、祝福ムードいっぱいの体育館で、来賓を代表して美郷町副町長 岸本建夫様をお招きし、保護者のみな様、職員に見守られながら、令和2年度卒業証書授与式を行いました。学級担任が卒業生27名の呼名をすると、大きく凜とした声で「はい」と返事をし、厳肅な雰囲気の中で一人一人卒業証書を受け取りました。前をしっかりと見据え、堂々とした態度に、この6年間の成長を感じることができました。

この良き日を胸に刻み、これからの人生を力強く歩いてほしいと願っています。



◎夢の実現に向かって「ふるさとを思い」「自ら考え」「今を全力で」（校長式辞より）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。（中略）邑智小学校の校庭で多くの卒業生を見送ってきた「しだれ桜の木の根・幹・花」に例えて、三つのお話をします。

（中略）雄大な江の川でのカヌー体験、5年生での「苗植え、草取り、稲刈りなど一年を通して行った米づくり学習」（中略）など、六年間で六つの地域での学習を行ってきましたね。多くの体験・経験を通して、ふるさと邑智のすばらしさや人の温かさを学ぶことができたと思います。小学校の時に心深く刻まれたふるすとは、みなさん一人一人がこれから生きていく上での大きな原動力、別の言葉でいうなら「桜の木の根っこ」になることでしょう。

2つ目は、今年度の運動会のお話です。コロナウイルスに感染しないように、競技内容を変更して行うことを余儀なくされました。実際に練習が始まると苦労の連続だったと思います。皆さんが力をいれた応援合戦でも、例年と違って、「少人数で分散して練習をしているので、全体で集まると、まるで動きが合わない。」など、多くの問題がでてきました。そのたびに、「全員が声を出す場面を一瞬つくることで動きをあわせる。」など、リーダーであるみなさんを中心に新たなアイデアが次々と生まれてきました。運動会当日それぞれの組の応援合戦が終わるたびに、校庭中に拍手が響き渡りました。

すぐには解決できないことを、知恵を出し合い、納得できる方法を考え実行する。これからの時代を生き抜く子ども達に備えてほしい力がついたと思います。桜の木に例えるなら、「自ら考える力」という「幹」がさらに太くなったのだと思います。

3つ目のお話は、将来の夢についてのお話です。皆さんが書いた卒業文集「元気な27人」にも「将来の夢」のコーナーがあり、みなさんの夢が書いてありました。「将来の夢をかなえる＝桜の木に花を咲かせる」ためにはどうすればよいでしょう。ピッチャーとバッターの二刀流アメリカ大リーグで活躍している「大谷翔平選手」を知っていますか。大谷選手の高等学校一年生の時の夢は、「プロ野球のドラフト会議で一位になり、8つの球団から指名される」ことでした。大谷選手は、それを紙の真ん中に書き、夢をかなえるために、「コントロールをつける」など、今すべき目標を8つ書き出します。さらに、「コントロールをつける」には、「軸がぶれないようにする」など新たに8つの今やるべきことを書き上げ、全部で64の目標を決めました。決めただけでなく、それができるように毎日努力し続けました。大谷選手のように、夢の実現のためには、「今やることを具体的に示し、その目標達成のために、全力を尽くす」ことが大切です。人は弱い心をもっています。「そのうちにやろうとか後でやればいいや」という考えを持つものです。でも、それに打ち勝ってこそ、夢は実現されると思うのです。夢の実現のために、今取り組んでいる目標に全力で取り組んでみてください。

これが私からの卒業生する皆さんへの最後のメッセージです。



◎春休みを前に

子どもたちが持ち帰りました「邑智小春休みのくらし」
 気をつけよう 水と車と火とお金」をご覧いただけましたでしょうか。
 健康で安全な春休みを過ごすためのきまりが書かれています。学校では、地域ごとに校外班会を開いて気をつけることの確認をしています。
 全員が元気で安全な楽しい春休みを過ごすために、春休みに入る前に、ご家庭で今一度話し合いをしていただきますようお願いいたします。



◎新入生に～熊鈴贈呈

邑智郡地域安全推進連合会長の上原謙二様にご来校いただき、来年度の新入生に対して、熊鈴をいただきました。毎年ご寄贈いただき、感謝申し上げます。自分の身を守るためには何をすればよいのかをしっかりと考えることのできる子ども達を育てていきたいと思っております。

